

2号機の原子炉起動状況について

2号機は平成17年11月9日午後2時より原子炉を起動しておりますが、同日午後8時18分、中央操作室に「タービン建屋機器サンプル*¹水位高」の警報が発生したため現場を確認したところ、同日午後8時19分、タービン建屋地下の給水加熱器*²（3B）の逃がし弁*³から復水*⁴が排水口に流入していることを、運転員が発見いたしました。

排水口への復水の流入は、当該弁からの漏えい（シートリーク）によるものと推定されることから、本日、開閉操作等を実施いたしましたが、状態が改善されないため、当該弁に固定治具を取り付けて漏えいを停止し、起動操作を中断することといたしました。

今後、当該弁の点検調整、健全性確認を行い、起動操作を再開する予定です。

本事象は、プラント運転上の安全に影響を及ぼすものではなく、また、外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 タービン建屋機器サンプル

タービン建屋内の機器（ポンプ・配管等）からの排水・漏えい水などを処理するために一時貯蔵する槽。

* 2 給水加熱器

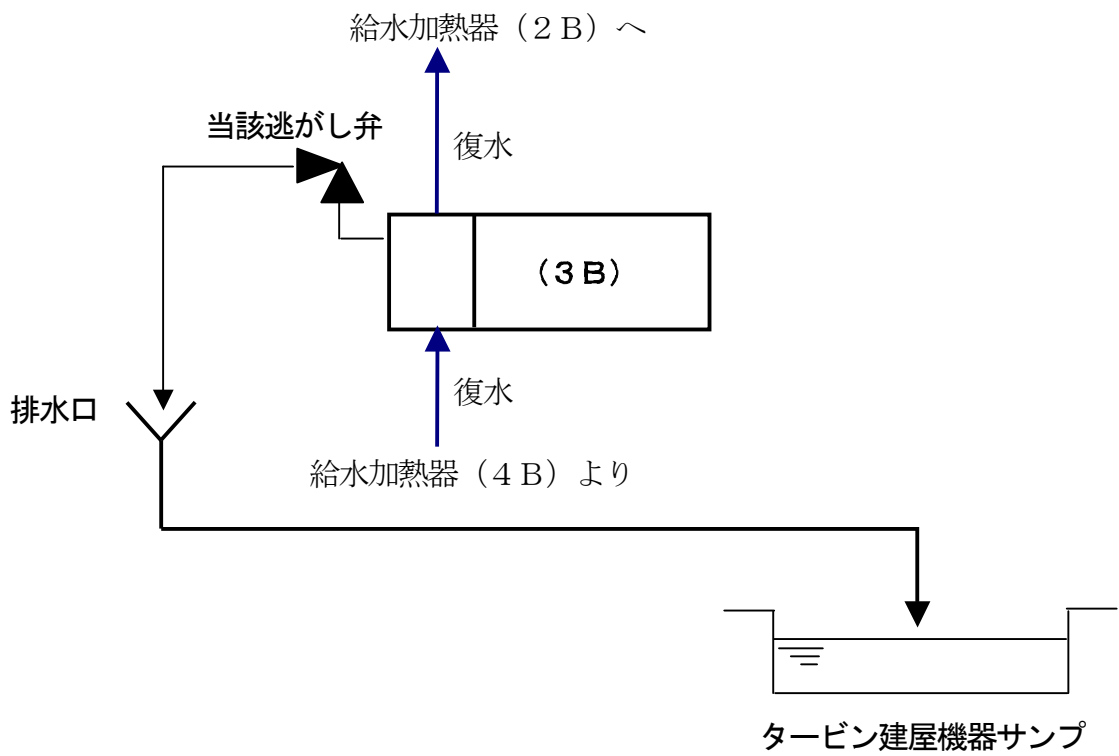
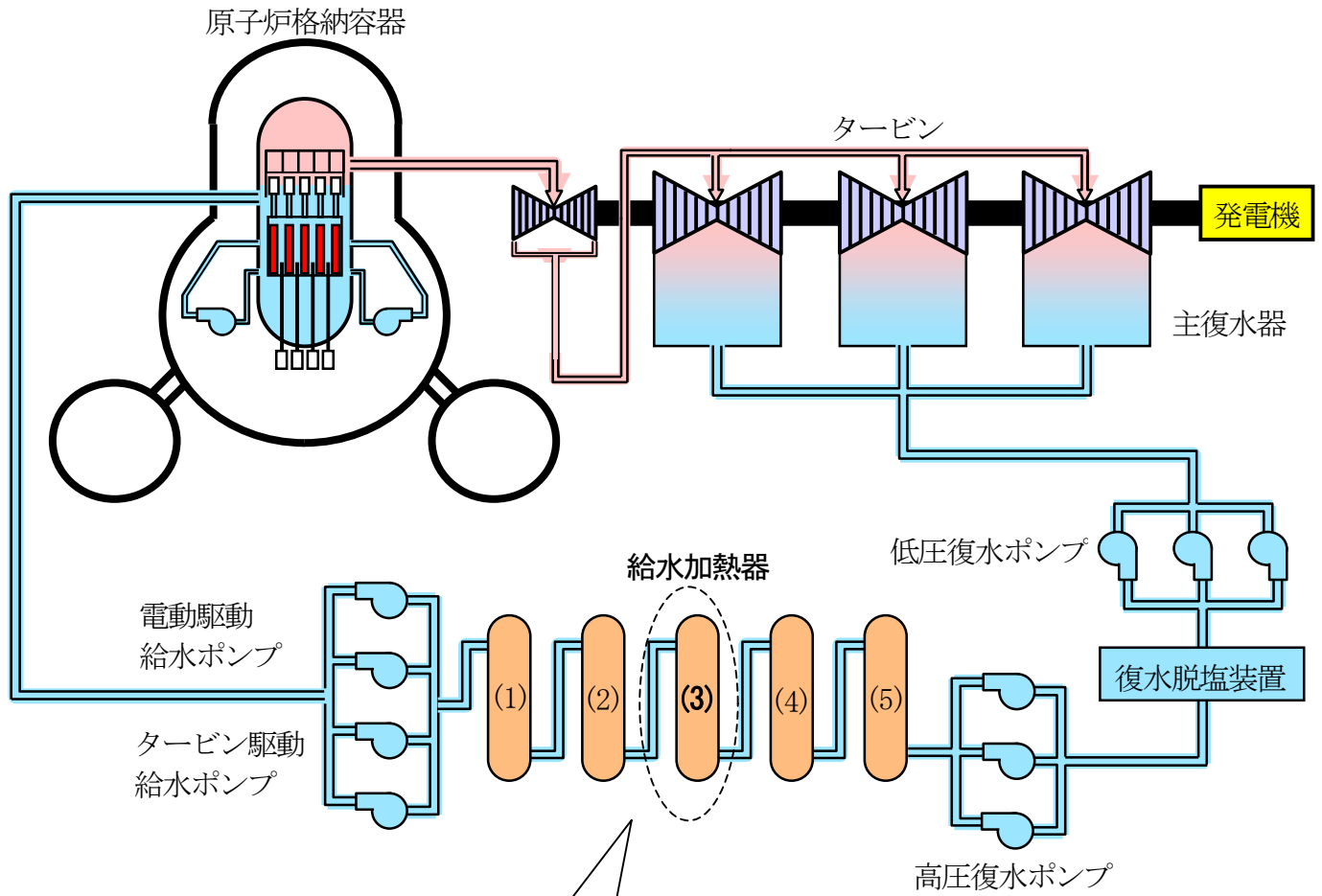
原子炉への給水を温めるための機器で、熱効率を上げるため徐々に昇温する設備。（3系列あり、1系列に5台設置）

* 3 逃がし弁

給水加熱器内の水の膨張による圧力上昇を抑制するため、これを逃がすための弁。（1系列に2台設置）

* 4 復水

タービンを回した後の蒸気が海水で冷却され、水に戻ったもの。



2号機給水加熱器(3B)逃がし弁からの漏えい概略図